

第 11 回 みたけ創生有識者会議 会議録

- 日 時 令和2年3月24日（水）15時00分～16時10分
- 場 所 御嵩町役場本庁舎2階 第1委員会室
- 出席者 尾石委員（(株)ケーブルテレビ可児）、黒田委員（東海化成工業(株)）、
小林座長（岐阜大学大学院）、齊藤委員（学校法人荻須学園）、
坂口委員（岐阜県可茂県事務所）、重政委員（御嵩町金融協会（(株)十六銀行））、
永谷委員（ながたに農園）
伊左次総務部長、長屋企画調整担当参事、山田企画課長、丹羽企画調整係長、
玉川企画調整係員、渡辺環境モデル都市推進室副室長、板屋まちづくり推進係長
- 欠席者 水内委員（名古屋芸術大学）

■会議進行

○挨拶	
山田課長	<p>ただいまから、第11回みたけ創生有識者会議を開催します。前回に引き続き企画課長の山田が司会をつとめさせていただきます。なお、先ほど消毒をお願いしたのと同時に、マスク着用をお願いしており、また、換気のため出入口を開放して実施しますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>開会にあたり、小林座長よりご挨拶を申し上げます。</p>
小林座長	<p>新型コロナウイルスの流行、また、年度末のお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。本日は今年度最後の会議となりますが、これまでの5年間の総合戦略を引き継ぐ第2期総合戦略の策定、また、来年度より新たなスタートとなる地方創生推進交付金事業へ向け皆さまにご承認いただきたくお集まりをいただきました。皆さま方活発なご発言をお願いしたいと思いますが、このような折ですので、可能な限りコンパクトに進めていきたいと思っておりますのでご協力をお願いいたします。</p>
山田課長	<p>ありがとうございます。本日、水内委員につきましてはご欠席となりますので、よろしくお願いいたします。</p>
○資料確認・会議の進め方	
山田課長	<p>最初に、資料の確認をさせていただきます。</p> <p>=====</p> <p>事前配布資料・机上資料の確認</p> <p>=====</p> <p>資料の不足等ありましたら、お申し付けください。 ※各委員不足資料等なし</p>

	<p>本日の会議の進め方ですが、お手元の次第に沿って進めさせていただきます。</p> <p>=====</p> <p>本日の議題について説明</p> <p>=====</p> <p>何卒忌憚のないご意見をよろしくお願ひしたいと思ひます。</p>
○議事	
山田課長	<p>それでは、ここから先の議事進行については、小林座長にお願ひしたいと思ひます。事業説明及びご質問に対する回答につきましては、事務局または担当部署からお答えさせていただきますので、よろしくお願ひいたします。</p> <p>それでは座長よろしくお願ひいたします。</p>
小林座長	<p>はい、それではよろしくお願ひいたします。それでは議事次第に従って進めさせていただきます。</p> <p><u>(1) 第2期みだけ創生!!総合戦略(案)</u>について、前回の会議後の経過等について資料1、2に基づき事務局から説明をお願いします。</p>
事務局 丹羽係長	<p>はい。事務局の丹羽から説明をさせていただきます。</p> <p>=====</p> <p>第2期総合戦略(案)のパブリックコメントの回答について及び前回会議からの案の変更点について説明</p> <p>=====</p> <p>簡単ではございますが、私からの説明は以上でございます。</p>
小林座長	<p>ありがとうございました。議題1については後ほど皆さまから承認をいただきたいと思ひますが、その前に皆さまからご意見、ご質問などいただければと思ひます。いかがでしょうか。</p> <p>1点確認です。パブリックコメントの回答の中で薪ストーブ推進事業について出ましたが、これについては予算をつけずに行うものでしょうか。</p>
事務局 渡辺副室長	<p>薪ストーブの推進の事業に関しては、薪ストーブの購入に182万円のほか、ワークショップ講師謝礼、啓発用の木の枠の予算を計上しています。財源としては、今の段階では基金を充当予定としていますが、岐阜県の補助金を申請し採択待ちの段階です。これが採択された場合は予算の組み換えを行うということでご理解をいただきたいと思ひます。</p>
小林座長	<p>ありがとうございます。ほかに如何でしょうか。</p>
齊藤委員	<p>薪ストーブは具体的にどこに導入しますか。</p>
事務局 渡辺副室長	<p>中山道みだけ館の図書館の部分です。図書館の中央の、現在は新聞等を閲覧できる場所のレイアウトを変更して薪ストーブを設置し、親しみのあ</p>

	<p>る雰囲気をつくって皆さまに親しんでいただくとともに、木材の循環利用の啓発を行うことで環境モデル都市としての取り組みを知っていただく、そうした啓発にもつなげていきたいと考えています。</p>
齊藤委員	<p>図書館に導入した後、他のところに導入を進めていくことも考えられるということでしょうか。</p>
事務局 渡辺副室長	<p>今現在、御嶽宿わいわい館において導入をさせていただいて、それに加えて中山道みたけ館に導入をします。その上で反応を見て、これから新庁舎の建設にも向かっていきますので、まだ検討段階ですがそこに反映していくなど、中山道みたけ館に限らず広げていきたいというのは考えています。</p>
小林座長	<p>はい。ありがとうございます。ほかにはいかがでしょうか。</p>
齊藤委員	<p>この総合戦略の中身は、それぞれの施策があって説明が書いてあり、その他主な事業の記載もありますが、住民の方々がこれを見たときに、これはどういうことだろうというものが多くあると思うので、総合戦略とは別で説明資料のようなものがあると良いと思います。</p>
事務局 丹羽係長	<p>個々の事業については制度設計があります。 (クラウドファンディング相談窓口設置チラシを提示) 例として、このチラシはこれまで地方創生推進交付金を活用してクラウドファンディングセミナーを実施してきたのを、企画課で相談窓口を設置するという内容のものです。この事業の場合は、相談窓口としてどういったことができますといったところまでの周知をワンペーパーで表記していくことが大事だと思っています。事業展開の際にはお知らせをさせていただくようにしていきたいと思っています。 予算を伴っているものかどうか、それぞれの事情がありますのですべてを一気に説明していくのは難しいかもしれませんが、例えば年度ごと区切るなどして周知をしていきたいと考えています。</p>
齊藤委員	<p>例えば ICT の活用について、簡単に説明するのは難しいとは思いますが、この総合戦略自体をネットワーク上にあげて、リンクを貼ってそこをクリックすると詳しいのが出てくるようにするなど、そういう作りこみなどを検討してほしいと思います。</p>
事務局 丹羽係長	<p>それぞれの施策に対して、KPI がどこに組み込まれているか検証していくものは用意をしていかなければならないので、そのような仕組みは作ることができますので、作り方については研究をさせていただいて、皆さまに広くご理解いただけるようにしていきたいと思っています。</p>
小林座長	<p>今のチラシなどもホームページ等に掲載していくということでしょうか。</p>
事務局 丹羽係長	<p>見やすさ、容量などの関係で全部というわけにはいかないかもしれませんが、皆さまに直接かわるものや、トピックスとなるようなものを中心</p>

	にして、厳選をさせていただくことがあるかもしれません。
小林座長	ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。
重政委員	「みんなでみたけのインフルエンサー」について、SNSのフォロワー数を増やしていくということで情報発信をしていくのは良いと思います。ただ、怖いと感じるのは風評被害だとか炎上といったものです。そういった対策というか防御の部分は職員で実施されるのか専門の方に頼んだり研修等をするのか、そのあたりは今の段階ではいかがでしょうか。
事務局 丹羽係長	<p>現在、Facebook や LINE などの SNS の運用をしていて感じるのは、不特定多数の方が意見を言いやすい場であるということです。なので、炎上などが起こる可能性も十分にあると思います。実際に町の職員が関わっているプロジェクトの中でも炎上したことはあります。ただ、そういった方々は、しっかりとした思いがあって衝突した方が大半で、単純におもしろおかしく炎上させているような例は今のところありません。</p> <p>現状の対処としては、そうした方々と直接コンタクトをとるなどは担当者レベルで実施したこともあり、なるべく担当者レベルで直接向き合うようにしています。会ってみるとそうでもなかったということは非常に多いので、直接的に声を聴くということで対応をさせていただくというのが根幹的なものになってくると思っています。</p> <p>ただし、ウイルスやサイバーテロなどの対応は担当者レベルではしかねるので、情報担当と連携しながら対処していくことになります。</p>
小林座長	<p>ほかにいかがでしょうか。</p> <p>それでは皆さまご意見もあるかもしれませんが、第 2 期みたけ創生!! 総合戦略に関しては委員の皆さまに承認の可否を挙手により示していただきたいと思います。それでは、この段階で第 2 期みたけ創生!! 総合戦略についてこの内容で承認をされる方は挙手にてお願いいたします。</p> <p>≪出席委員 6 名（座長を除く）が挙手（反対なし）≫</p> <p>ありがとうございます。それでは、第 2 期みたけ創生!! 総合戦略は本会議においてはこの内容で承認されました。</p> <p>では、議題 2 に移ります。</p> <p>(2)令和 2 年度地方創生推進交付金事業実施計画について、資料 3 に基づき事務局からご説明をお願いします。</p>
事務局 丹羽係長	<p>はい。事務局の丹羽から説明をさせていただきます。</p> <p>=====</p> <p>令和 2 年度地方創生推進交付金の実施計画提出状況及び 第 10 回有識者会議にて示した内容からの変更点を中心に説明</p>

	<p>=====</p> <p>地方創生推進交付金事業はいまだ国の審査結果待ちの状況ではありますが、新年度しっかり取り組めるように体制づくりをしてまいりますのでよろしくお願いいたします。</p>
小林座長	<p>ありがとうございました。こちらについては、基本の事業方針は前回と変わりませんが、事業体系の変更などがあったということでご説明をいただきました。これまでの継続ではなくてさらにステップアップしたものをということで情報発信をひとつのキーワードにして IT プログラミング人材育成事業を中心にして残りの事業がその下に横並びになるという形としたということですが、ご質問、ご意見等いかがでしょうか。</p> <p>今回の変更の肝になる点としては、IT プログラミング人材育成事業が情報発信も含まれているということが大きなことだと思います。</p> <p>来年度以降も、これらの事業は進捗等も含めて議論、検証していくことになるということでしょうか。</p>
事務局 丹羽係長	<p>地方創生推進交付金事業は大きくタイプが2つあり、「先駆タイプ」という広域連携や先進的事例には最大で5年計画が認められます。御嵩町が今展開しているものは「横展開タイプ」というもので、既存事業もしくはそれをブラッシュアップした新たな事業の横展開を進めるもので最大で3年間の計画となります。</p> <p>ただ、これはあくまでも計画の話であり、財源として認められるかは単年度で交付決定されます。そのため、それぞれの事業について前年の検証をしたうえで、さらに力を注ぐ必要があるという検証をしたうえで事業を行う必要がありますので、次年度以降の計画の変更という可能性もあるものになりますので、それぞれの年度の効果検証については、引き続きお願いしたいと思います。</p>
小林座長	<p>ありがとうございます。よろしいでしょうか。</p> <p>それではこれについては今後も皆さま方に効果検証をお願いするということで、この方向で進めさせていただきたいと思います。</p> <p>それでは、次の議題に移らせていただきます。</p> <p><u>(3)御嵩町人口ビジョンの一部改訂について</u>ということで、資料については資料4と資料5になります。改訂事項ですので、こちらについても議題1と同じように最後に挙手にて承認の可否を示していただければと思います。まず、事務局からご説明をお願いします。</p>
事務局 丹羽係長	<p>はい。事務局の丹羽から説明をさせていただきます。</p> <p>=====</p> <p>人口ビジョン改訂の要点について説明</p> <p>=====</p>

	<p>よろしくお願いいたします。</p>
小林座長	<p>ありがとうございました。いろいろなデータの解析から面白い傾向が出てきましたところもあり、有意義なデータかと思えます。</p> <p>改訂の中心は年数が経過したことによる追記の部分が大きいということですが、どうでしょうか。追記が中心なのでなかなか意見しづらい部分もあるかもしれませんが。</p> <p>御嵩町には工業団地があるのでちょっと他とは違うような傾向、特徴があるように思いますが。</p>
事務局 丹羽係長	<p>東海環状自動車道の開通は非常に大きな転機となったと思っています。それに伴い働く方の居住の選択が非常に増えていると考え、御嵩町に住むというところに意識を向けたアピールをしていかないといけないと思います。そういったアピールをする際の中身としてまちの特徴を出していくことで変わってくると思いますので、そこを考えたうえで事業展開を行っていきたいと考えています。</p>
小林座長	<p>総人口の動態はそう大きく変わらないと思いますので、そうすると御嵩町の人口をという話になるといかに移動で人を集めてくるというのがキーになってくると思います。どうでしょうか。</p>
永谷委員	<p>総合戦略の流れとは少し違う話になってしまいましたが、人口減少というのはどんどん進んでいくことだと思います。世界的に後進国といわれるようなところでも経済が安定してくると人口が減ってくると思います。そうすると無理に人を集めるというのは結構大変だと常々思っています。</p> <p>その流れと逆の考え方も持っておくと良いかなと思うところがあって、より良くコンパクトになっていく、例えば上之郷中学校では、一人一人の子にしっかり目が行き届くから安心して勉強できて、教育が行き届いて、ほかの学校の子どもたちと比べて、非常に生命力のある子に育っていると感じています。</p> <p>人を集めるだけでは、結果的にはほかの地域と人口を奪い合うことになってしまう。人を集めるという方向性もひとつだとは思いますが、それと逆の方向性、より良く小さくなるということもやってみたら、別の可能性が出てきたり幅が広がってくると思います。</p>
事務局 丹羽係長	<p>1人の子どもに対して関わる大人の数が多いほど良いと思っています。そのような概念の中で国が新しい概念として示してきた「関係人口」が御嵩町内だけで収まらずほかの地域から来てくれる大人との交流などはこれから大事になってくるのは間違いのないところですので、御嵩町としてはまず人口流出の抑制、定住の推進という思いはもちろんありますが、関係人口のような形で関わっていただく方がそれだけ増えてくるかで、まちの色としても変わってくると思いますので、そういった新しい指針に対して御嵩町としても取り組んでいきたいと思っています。</p>

小林座長	<p>齊藤委員も感じている部分はあるかと思いますが、最近では親から見て子どもに対する価値観が変わってきていて、昔のように良い学校に入るといのが良い価値ということではなく、生きる力というか、心が豊かになるとか、そういう部分へ変わりつつあるのかなと感じますので、それに対して将来的に、長い時間をかけて、御嵩町も特に若い世代にとって魅力的なものにするまちづくりを、このようなデータをベースにして議論ができると良いと思います。</p>
重政委員	<p>将来推計人口の比較についてですが、結果は追記されていますが、パターン1、2とシミュレーション1、2については見る限りは変わっていないと思いますが、パターン1、2の基になっている調査会社において、平成27年の国勢調査を基にして新たに分析をした数値なのか、していないのかという点を確認したいです。4年、5年経過すればこうした分析も新しいものが出てくるとは思いますが、いかがでしょうか。</p>
事務局 玉川主査	<p>仰るとおり、このパターン1、2、シミュレーション1、2というのは今回の改訂では変えてはいません。パターン1の社人研さんの推計は、平成25年3月に公開されたもので、平成30年3月に新しい推計値を出しています。パターン2の日本創成会議さんの推計についても調べましたが、事務局で確認する限りは新しいものは出ていませんでした。</p> <p>新しい推計値が出てきていますので、それに対する検証も必要かとは思いますが、この人口ビジョンの中では5年というのは短く、まずはこの5年で当初の推計に対しどう動いたかを示す必要があると考え、新しい推計はここには含めていません。</p>
重政委員	<p>5年経過しての結果を追記したということですのでよろしいですね。わかりました。</p>
事務局 丹羽係長	<p>もともとの人口ビジョンがあまりにも長い40年というスパンのもので、5年経過したからという比較は非常に微少な動きであり、要因をつかむにはあまりにスパンが短いというところもあります。</p> <p>なので、他の自治体のやり方を見ても、今回この人口ビジョンを大きく変更しようと調査業務を委託して分析してもらうようなところはほとんどないようです。人口ビジョンが実績値との比較で、どれだけ変わってきたか、抑制が効いているかという視点をもって改訂が展開されているようです。</p>
小林座長	<p>ただ、2015年の経過を見ると良くないパターン1、2よりも減少して推移していますので、もう少し上がると良かったと思います。</p>
事務局 丹羽係長	<p>国勢調査は5年に1度の実施で、来年度がその年に当たりますが、結果が出てくるまでに1年以上かかります。こうした分析も3年4年と過去に戻って行わなければならないのが苦しいところではありますが、最新値として公に出ている数字はこれがすべてになりますので、これを基準にせ</p>

	<p>ざるを得ないのはご容赦いただきたいと思います。</p>
小林座長	<p>ひとつの数字ではありますが、ある意味ちょっと厳しいデータではありますね。いかがでしょうか。</p> <p>では、この一部改訂は追記、追加がメインではありますが、これからの計画等はこの人口ビジョンというデータがある程度ベースになってきますので、ここでお認めいただければ、各種計画に使っていくということになります。この改訂をお認めいただける場合は挙手をおねがいできますでしょうか。</p> <p>≪出席委員6名（座長を除く）が挙手（反対なし）≫</p> <p>御嵩町人口ビジョンの一部改訂は承認されました。 これで3つの議題は終了しました。</p> <p>(4)その他としておりますが、本日の議題に限らず、委員の皆さまからご意見やお知らせなどがありますでしょうか。</p> <p>≪意見等なし≫</p> <p>これで本日の議題はすべて終了しましたので、事務局へ進行をお返しします。</p>
事務局 山田課長	<p>ありがとうございました。</p>
○閉会	
山田課長	<p>ありがとうございました。それでは閉会に当たりまして、総務部長の伊左次よりご挨拶を申し上げます。</p>
伊左次部長	<p>本日はありがとうございました。今年度は第2期みたく創生!!総合戦略の策定ということで、数多く皆さまに集まっていただき、ありがとうございました。新型コロナウイルス感染症が4月からスタートしていく事業にどう影響しているか、非常に危惧しているところです。人口の話もそうですし、各種計画、事業もそうですが、いろいろなことにどう影響してくるか危惧されますが、危惧しつつも事業を進めていきたいと思っております。来年度、異動等により委員さんが改選となる場合もありますが、引き続き有識者の皆さまからは貴重なご意見やご指導をいただきたいと思っておりますので、よろしく願います。</p> <p>最後になりますが、隣の長屋参事が2年間の期間を終え、この3月を以て岐阜県へ戻りますので、一言ご挨拶をさせていただきます。</p>

<p>長屋参事</p>	<p>大変貴重なお時間をいただきましたので、少しご挨拶させていただきます。小林座長をはじめ委員の皆さま方におかれましては、本日を含め、ご多忙の中、地方創生についてご協力をいただきまことにありがとうございます。</p> <p>先ほど総務部長よりお話がありましたとおり、2年前に岐阜県から御嵩町へ派遣され、着任しました。県の職員として20年近く働いて、はじめて町役場という組織に入って仕事をさせていただき、大きく2点感じたことがあります。1つは住民の方との距離というのが非常に近いと感じました。それについては難しい部分もあるかもしれませんが、事業を進めるにあたって顔が見える、リアクションが返ってくるというのは非常にやりがいがある仕事だと感じました。県の立場からすると、ほとんど市町村とやりとりをさせていただくことが多く、その先の県民というところとなかなかふれあう機会が少なかったため、その点は町との仕事においても違いを感じる部分でした。</p> <p>また、もう1点は、情報発信というところで、先ほど齊藤委員からのお話にもありましたが、これだけ距離感が近くても町のことを知ってもらう、情報発信するのは難しいことだと感じています。また、私自身町外から来て、御嵩町は魅力が多いと感じましたが、やはり町外にいてそれを感じるのは少なかったと考えると、町の方が情報発信していくというのは非常に重要だし難しいと感じました。令和2年度の地方創生推進交付金事業の中でも情報発信はキーワードになっておりますので、こういったことが進められるというのは期待が大きいです。</p> <p>4月以降も私の後任が参りますので、引き続き変わらずご指導、ご鞭撻を賜るよう、よろしく願いいたします。委員の皆さまに置かれましては、引き続き御嵩町政にさまざまな形でご理解、ご協力をいただきますようよろしく願いいたします。2年間ありがとうございました。</p>
<p>山田課長</p>	<p>次回の会議につきましては、今年度の地方創生推進交付金事業を始めとした効果検証を中心に、7月頃を予定しています。委員の皆さまの任期は令和3年6月までとなっておりますので、引き続きお力添えをいただきますよう、お願いいたします。また、異動等により委員を退任する方につきましては、大変お世話になりありがとうございました。</p> <p>ではこれで第11回みたけ創生有識者会議を終了とさせていただきます。ありがとうございました。</p>

